
玻璃の奥

遊部

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

玻璃の奥

【Nコード】

N6318L

【作者名】

遊部

【あらすじ】

苦しみ。悲しみ。孤独。イジメ。

どの世界にも存在する事…あなたの周りにもありませんか？

友達が私に言った。

『何で、あなたは…』

先生が私に言った。

『何で君は…』と。

家族が私に言った。

『何で、あんたは…』と。

皆が私に言う。

『何で……あなたは生きてるの？』

私の頭の中を言葉が回る。

解らない。でも、これだけは解る。

【この一方的に与えられる苦しみは終わらない。人と関わっている限り……一生終わらない……。】

だから

私は逃げた。

この苦しみから。

私は逃げた。

もう苦しまないように。

私は逃げた。

心の中に鍵を掛けた。

私は逃げた。

私が苦しまない世界に。

私は逃げた。

私だけの世界に。

私は逃げた。

……… 玻璃の奥へと。

私は私だけの世界へ逃げた。

しかし

今、私は幸せではない。

今、私は幸福ではない。

今、私は満たされてはいない。

…今、私は孤独に苛まれている。

私は今、一人ぼっち。

寂しい。サビシイサビシイサビシイサビシイ……寂しいの……
寂しいの！

……寂しいよ。

私も皆みたいになんか笑ったり、誰かと一緒に悲しんだり、誰かと同等に喧嘩をしたり、誰かと何かを頑張ったりしたいよ……。

でも、元みんなの居る世界に行っても、また苦しいだけ……。

だから

私は、幸せにはなれない。

私は、幸福を得ることはできない。

私は……一生孤独に苦しむ。

私は、どこへ行っても苦しみからは逃れることは……できない。

(後書き)

この話はここで終わりです。

この主人公はこの先どうなるのでしょうか？それは分かりません。

あなたはこれを読んで何を感じましたか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6318/>

玻璃の奥

2010年10月20日18時17分発行